



SBD NIO ES8
発行年月：2022年2月
S&P番号：CON635-21(21h)

目次

調査の概要

機能と特徴

実装品質

知覚品質

ADAS

インフォテインメント

ナビ

音声認識

コネクテッド機能

利便性

関連レポート

UXベンチマーク評価シリーズ

レポート番号: 635

本レポートシリーズでは、インフォテインメント、ADAS、デジタルキー、VPAなどのHMIのUXや利便性を実車評価する。(モデルによっては全ての評価項目を備えているわけではない。)

2021年度の評価対象車種/システム：
Mercedes Benz S Class、CUPRA Formentor、Tesla Model S、Hyundai IONIQ 5、Lexus LS、BMW iX、Cadillac Escalade、NIO ES8（本書）

レポート番号：635(21h)



In-Car HMI UX
Evaluations

NIO ES8 UX ベンチマーク評価

車両への採用技術が増加する中、搭載システムをユーザーがどのように評価しているかを理解しておくことが非常に重要です。車内UX（ユーザーエクスペリエンス）はブランドの差別化において重要な要素であるだけでなく、長期的な顧客ロイヤルティの確立にも影響を及ぼします。

SBD AutomotiveのUX（ユーザーエクスペリエンス）専門チームでは、NIO ES8のHMI UX評価を実施しました。プレミアムセグメントをターゲットとするこのノルウェー市場仕様のNIOは、新たなインフォテインメントと先進的なADASソフトウェアに加え、センターディスプレイ（10.4インチから11.3インチへ）や、メーターパネル（8.8インチから9.4インチへ）の大型化、内装の若干の変更、ステアリングホイールの変更、フレグランスシステムの追加などのアップデートが行われています。

しかしながら、欧州版ソフトウェアでは音声認識機能、気象情報、IC内の地図表示など一部の機能が失われています。また、両バージョンともメッセージング機能がなく、ストリーミングメディアアプリも1つしか提供されていません。





対象市場

欧州 北米 中国
日本 グローバル その他

レポート発行頻度

  
毎年更新 四半期更新 年間8車種

レポート形態

   
PDF PowerPoint Excel Online

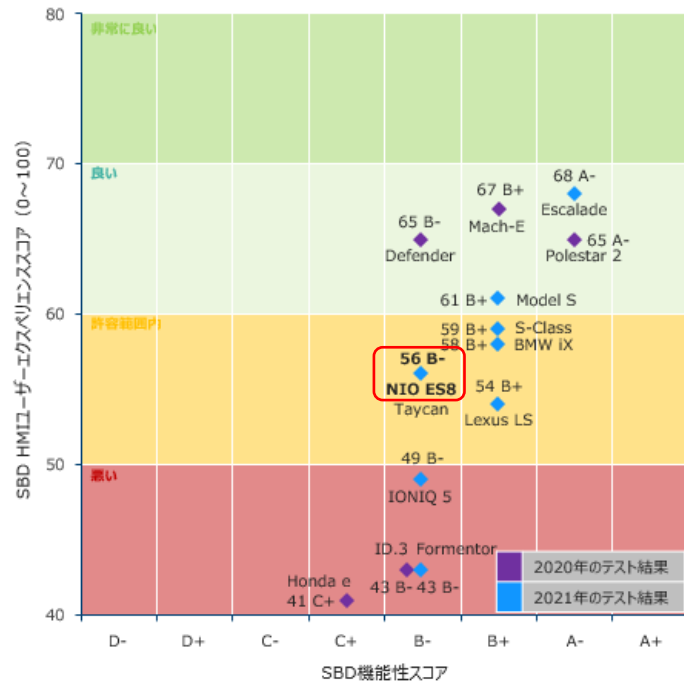
ページ数


150+

お問い合わせ



効果的なシステムだが、問題が複数あり、機能も不足



SBDによるNIO ES8の初テストは2018年中国で行われ、スコアは64%（過去の調査手法による）であった。本レポートでは、ノルウェーで実施されたノルウェー市場向け車両のテストについて報告する。使用されたソフトウェアはAspen 3.0.0である。

全体的に見て、NIOのシステムを習得するのは容易であり、大半の顧客に受け入れられるものと思われる。機能が向上し、特定されたバグが解決されれば、このシステムは非常に高性能で快適なものとなり、大半のユーザーを満足させることが期待される。

本書ではNIO ES8のADAS、インフォテイメント、ナビ、音声認識、コネクテッド機能の+/-面を詳細に分析する。

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。

100+ Reports published per year
50k+ Slides of insights, forecasts & data
4,000+ # of auto professionals who access our reports



本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「NIO ES8: UX ベンチマーク評価」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード



NIO ES8
UX ベンチマーク評価

発行年月：2022年2月
レポート番号：CON635-21(21h)